

兒玉幸多 こがま ゆきた 國史學者。明治四十一年十一月八日長野縣生れ（一九〇九—）。號無齋齋。昭和七年東京帝國大學文學部國史學科卒。第七高等學校教授を経て、十二年學藝院教授。四十七年學藝院大學學長。主に、近世農村史・交通史を研究、また地方史研究を推進した。

著書『郷土史研究の調査と方法』（合著・日本歴史地理學會編、昭和十九年六月十日地人書館）、『江戸時代の農民生活』（昭和二十二年二月二十九日大八洲出版株式會社「大八洲史書」）、『虚構の日本史』（合著・昭史會編、昭和二十八年七月七日吉川弘文館）、『佐倉惣五郎』（昭和二十二年十一月二十五日吉川弘文館「人物叢書」）、『無為齋雜録』（昭和五十四年十一月八日月刊）等。『兒玉幸多先生年譜著作目録』（昭和四十四年十一月兒玉幸多先生還曆祝賀会）刊。

